

関西支部第10回若手シンポジウム ―若手による材料研究の開拓・継承・融合―
実施報告

1. 日時：2015年12月18日－19日

2. 会場：琵琶湖湖畔おごと温泉湯の宿木もれび（大津市）

3. 参加者：32名

正会員…5名（うち、1名支部長、2名常議員）、賛助会員…2名、協賛会員…3名、
学生会員…3名、非会員学生…3名、協賛団体学生会員…10名、WG委員…6名

4. 内容

● 参加者自己紹介

初日の冒頭に1名あたり1分程度の自己紹介を行った。研究内容のみならず研究を志したきっかけや趣味などが自由に話され、良いアイスブレイキングとなった。

● グループ討論：「未来道具開発のための材料設計」

参加者を4つのグループに分け、表題についてのグループ討論を行った。担当幹事より、討論の進め方、討論の主題を説明した後に、参加者による議論を開始した。議論は尽きず、当初1時間半の予定であったが、2時間程度に延長した上に食事後にさらに追加で1時間程度を費やした。議論を収束させるのに苦労するグループもあったが、時間が経つにつれて意見交換は活発となっていき、参加者間の有意義な交流となった。

● ポスター発表による研究紹介

参加者のうち21名がポスター発表を行った。1時間程度を費やし、発表者も他の発表者のポスターを見る事ができるように配慮し、前半を偶数番号、後半を奇数番号のポスター発表に分けて実施した。全てのポスターを見るにはもう少し時間が必要であった。また、役員で採点し優秀な発表者を表彰するポスター賞を決定した。採点では異分野の研究の新規性の判断にやや難しさがあった。

【ポスター賞】

5名

- 下村 育生／川崎重工業株式会社／天然ゼオライトによる廃棄物発電ボイラ過熱器管の高温腐食抑制効果
- 元山 佑太／立命館大学／発泡アルミニウムへの高速衝突によるクレーター形成メカニズムの解明
- 菊池 庄太／新日鐵住金株式会社／レーザ溶接時における補助加熱による溶接凝固割れ防止方法の数値解析的検討
- 赤木 俊文／京都大学大学院／ガスハイドレート含有地盤の力学特性の解明とモデル化への取り組み
- 橋本 涼太／京都大学大学院／地盤数値解析法に基づく歴史的石積建造物の安定性検討

- 夕食および交流会

夕食および交流会では、グループ討論や研究紹介についての議論にとどまらず、参加者間で自由な交流がなされた。夕食後の交流会では、グループ討論の続きがなされた。

- グループ発表

グループ討論の結果をパワーポイント資料にまとめて、各グループの代表者が発表した。役員による審査の結果、グループ発表支部長賞を決定した。

【グループ発表支部長賞】

A グループの6名：下表

氏名	所属
西村 正樹	地方独立行政法人 大阪府立産業技術総合研究所
松下 遼	大阪府立大学大学院 工学研究科 物質・化学系専攻
下野 良太	立命館大学大学院 理工学研究科 機械システム専攻
赤木 俊文	京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻
有木 信也	大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻
佐藤 瑠璃	株式会社 東レ リサーチセンター

- 特別講演

大阪府立大学の東健司先生により「競争的資金獲得のための勉強会」のタイトルで特別講演がなされた。

以上



グループ討論の様子



受賞者と関係役員